

## 田園調布学園大学

- 1) 卒業認定・学位授与の方針〔ディプロマ・ポリシー〕
- 2) 教育課程編成・実施の方針〔カリキュラム・ポリシー〕
- 3) 入学者受入れの方針〔アドミッション・ポリシー〕

### 全学共通

#### 【教育目標】

田園調布学園大学は、建学の精神である「捨我精進」を教育理念の基盤とし、社会に貢献しうる、質の高い「実践力」を有する人材を育成することを教育目標とする。

#### 1) 卒業認定・学位授与の方針〔ディプロマ・ポリシー〕

田園調布学園大学は、建学の精神並びに教育目標に基づき、「DCU 学士力(基礎力)」に掲げる各能力を修得するとともに、それぞれの学部・学科・専攻で求められる「DCU 学士力(専門性)」を身につけ、所定の単位を修得した者に対して卒業を認定し、学位を授与する。

#### [DCU 学士力(基礎力)]

##### 1. 知識・技能

学びや生活に必要な基本的な知識・技能が身につけている。

##### 2. 思考力

知識・技能を基本として、物事に対して問いをもち、柔軟な思考をすることができる。

##### 3. コミュニケーション力

自分の考えを他者に伝え、また、他者を理解しようとする姿勢をもって協力することができる。

##### 4. 意欲・姿勢

他者を尊重し自己を律する姿勢と意欲をもち、目標をもって行動することができる。

##### 5. 問題解決力

課題を発見し解決するまでのプロセスにおいて、学修した知識・技能、柔軟な思考力、コミュニケーション力と意欲をもって行動することができる。

## 2) 教育課程編成・実施の方針〔カリキュラム・ポリシー〕

### 〔教育課程編成・実施の方針及び学修内容〕

田園調布学園大学は、教育目標並びに卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するため、「総合教育科目」「専門基礎科目」「専門発展科目」を相互に順序性・関連性をもたせ、教育課程全体として体系的に編成する。

#### 総合教育科目

各学科の専門領域とは異なる幅広い知識や方法論を学ぶことによって、自らの専門性と関連させ、総合的・多角的な視野を身につけるための科目群。「人間」、「社会」、「自然」、「言語」、「スポーツ」、「学びの基礎」、「地域探究」からなる。

#### 専門基礎科目

各学科専攻の専門領域において基本的な理解を築き、より高度な専門分野への知識やスキルを学ぶための土台となる科目群。

#### 専門発展科目

各学科専攻の特徴を示す科目群で、高度な専門領域の知識やスキルをより深く研究し、教育目標に近づくための科目群。

### 〔学修方法〕

総合教育科目及び専門科目を構成する各科目の授業形態は、授業の到達目標や教育方法、クラスサイズにより、講義、演習、実習・実技及び卒業研究に区分する。また、学生の能動的な学修を促し教育効果を高めるため、演習科目を中心にグループワーク、フィールドワーク、プレゼンテーション、課題発見・解決型学習及びディスカッション等を取り入れた授業と遠隔科目を配置する。特に、実践的な演習授業、学外研修、学外実習、地域連携による協働プログラムへの参加等、体験を通じた学びとその振り返りを重視する。

### 〔学修成果の評価〕

- 総合教育科目及び専門科目群を構成する各授業科目の科目担当者による学修評価は、当該授業科目のねらい、到達目標に対し、各科目の評価方法、評価基準に照らして学生個々の達成度を測って行う。
- 各学年における学修評価は、当該年度の履修科目における GPA に集約し、アドバイザーが修得単位数とともに学修状況に応じた指導、助言を行う。
- 成績評価基準による評価、これに基づく GPA、学修支援シート、DCU 学士力の自己評価などを行い、学生自ら目標を設定し計画を立てて学び、学修の達成度を確認し評価することにより、不断の振り返りと新たな目標及び課題への取り組みを行う。これらを通して、4年間の学びの連続性と蓄積を自覚できるように示す。

### 3) 入学者受入れの方針〔アドミッション・ポリシー〕

田園調布学園大学は、建学の精神である「捨我精進」に基づき、社会に貢献しうる、質の高い「実践力」を有する人材を育成することを教育目標とし、次のような資質・能力を有する学生を求める。

1. 知識・技能  
高等学校で学ぶ各教科における基礎的な知識や技能がある。
2. 思考力  
社会の問題に関心を持ち、その背景や要因について考えることができる。
3. コミュニケーション力  
自分の考えを持ちながら、他者と良好なコミュニケーションを図ることができる。
4. 意欲・姿勢  
目標を持ち、計画的に学業に取り組む姿勢がある。
5. 問題解決力  
課題を発見し、解決するまでの方法を考えることができる。

#### 〔入学者選抜方法〕

1. 総合型選抜  
強い目的意識や深く考える力、コミュニケーション能力などを持つ人、または学校内外で多様な活動をしてきた人を求める選抜方法。
2. 学校推薦型選抜  
学業および人物が優れ、学校長が推薦する人を対象とする選抜方法。
3. 一般選抜  
書類審査と学力試験で判定する選抜方法。
4. その他の選抜  
社会で培ってきた社会人基礎力と学修に対する主体的な姿勢を求める社会人選抜や、本学の建学の精神および教育理念・伝統を継承し発展させることを目的とした調布学園卒業生子女等選抜、その他、入学者の多様性を確保する観点から、入学志願者の努力プロセス、意欲、目的意識等を重視した選抜を実施する。

## 人間福祉学部 社会福祉学科 社会福祉専攻

### 1) 卒業認定・学位授与の方針〔ディプロマ・ポリシー〕

人間福祉学部社会福祉学科は、人間理解を基礎として、共感性をもったコミュニケーションを通じて支援対象の課題を把握し、計画的に他者と連携・協働しながら課題解決を行い、誰もが安心して暮らせる社会の幸福を追求する高い専門性と福祉マインドを身につけた専門職の養成を目的とする。そのため、全学共通のディプロマ・ポリシーを基盤として、以下に掲げる DCU 学士力（専門性）を身につけ、所定の単位を修得した者に対して卒業を認定し、学位（学士「社会福祉学」）を授与する。

#### [DCU 学士力（基礎力）]

##### 1. 社会問題への関心

少子高齢化、貧困、差別問題など、直面する社会問題を解決する専門家として高い関心と責任感を持ち多様な課題に対して支援することができる。

##### 2. 多様性への理解と包括的な視点

多様な背景を持つ人々の価値や経験を尊重し、包括的視点に基づき、多様なニーズを理解することができる。

##### 3. 権利擁護

制度的な障壁を越えて、個人の権利を保障するために、適切な情報提供、アドボカシーなど、公正で平等なサービス提供を実現する方法について考えることができる。

##### 4. 連携協働とネットワーク

多様な機関や専門職、地域社会と連携・協働し、支援を必要とする人への総合的な支援を実現させるためのネットワークづくりについて考えることができる。

##### 5. 地域での実践

実習やフィールドワーク、インターンシップなどを通して、社会及び地域の課題解決に必要な実践力が身についている。

##### 6. 高齢者福祉

高齢者の心身の健康、生活の質の向上、自立支援をめざし、ニーズに応じたサービスを考え、家族やコミュニティとの連携を通じて、安全かつ安心できる支援方法が身についている。

##### 7. 障害者福祉

障害のある人の基礎的な知識を修得し、地域での生活を理解することができる。また、本人のみならず家族や地域を含めた周囲の環境へ適切な支援をするため

の方法が身についている。

#### 8. 児童・家庭福祉

児童と家庭の生活実態とそれを取り巻く社会環境について理解し、児童のみならず家庭や地域を含めた周囲の環境へ適切な支援をするための知識が身についている。

#### 9. 多様なソーシャルワーク

精神保健福祉・医療・教育など多様な分野でのソーシャルワークについての基本的な知識と実践力が身についている。

#### 10. 福祉デザイン

複雑化する福祉課題に対して、これまでの福祉の枠組みを超える多様な領域と連携・協働して新しい福祉サービスについて考え、実践することができる。

## 2) 教育課程編成・実施の方針〔カリキュラム・ポリシー〕

### [教育課程編成・実施の方針及び学修内容]

人間福祉学部社会福祉学科社会福祉専攻における教育課程は、大きく「総合教育科目」と専門科目である「専門基礎科目」・「専門発展科目」に区分し、それぞれ構成する授業科目は、学位授与方針に基づく社会福祉に関わる人材として、課程修了時の資質・能力の獲得を担保するため、学修領域ごとに系統性をもって過不足なく配置する。

#### 総合教育科目

総合教育科目では、専門的な知識・技術を深めていく上で必要となる基本的な学修姿勢や学修方法を修得し、総合的・多角的な視野を身につけるため、「人間」、「社会」、「自然」、「言語」、「スポーツ」、「学びの基礎」、「地域探究」という区分で科目を配置する。

#### 専門基礎科目

専門基礎科目では、総合教育科目で身につけた基本的な学修姿勢や学修方法を基盤として、より専門性の高い科目を配置する。ここでは、対人援助に必要な福祉マインドを養うとともに、社会福祉領域に関する専門知識ならびに学際的知識の修得をめざした科目を配置する。

#### 専門発展科目

専門発展科目では、卒業後の具体的な進路を意識し、職業を通じて地域社会に働きかけるための実践的な専門知識と専門技術を修得するための科目を配置する。また、4年間の学修を振り返り、教育及び研究機関である4年制大学の学生として個々の知的関心事についての更なる探究を通じて、社会福祉現場での実践につながる科目を配置する。

### 3) 入学者受入れの方針〔アドミッション・ポリシー〕

#### 〔求める学生像〕

社会問題に関心を持ち、他者および多機関と連携し、高い倫理観をもって問題解決に向き合うソーシャルワーク専門職を目指す学生。

## 人間福祉学部 社会福祉学科 介護福祉専攻

### 1) 卒業認定・学位授与の方針〔ディプロマ・ポリシー〕

人間福祉学部社会福祉学科は、人間理解を基礎として、共感性をもったコミュニケーションを通じて支援対象の課題を把握し、計画的に他者と連携・協働しながら課題解決を行い、誰もが安心して暮らせる社会の幸福を追求する高い専門性と福祉マインドを身につけた専門職の養成を目的とする。そのため、全学共通のディプロマ・ポリシーを基盤として、以下に掲げる DCU 学士力(専門性)を身につけ、所定の単位を修得した者に対して卒業を認定し、学位(学士「社会福祉学」)を授与する。

#### 〔DCU 学士力(専門性)〕

##### 1. 生活支援(自立・自律)

本人主体の自立・自律した生活が継続できるよう根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術が身につけている。

##### 2. こころとからだ

介護を必要とする人の生活支援を行うため、介護実践の根拠となる人間+心理、人体の構造や機能についての基礎的な知識が身につけている。

##### 3. 生活環境

住まいを中心とした住環境が、あらゆる人々の一生を通じて、安全で安心できる安定した生活を営むことができる空間的拠点であり続けるために、どのような居住環境整備が必要なのかについて理解し、適切に助言・援助できる知識や技術が身につけている。

##### 4. 多職種連携

高齢者、障害のある人の生活を支えるという観点から、医療職など他の職種と連携し支援を行うための、障害や疾病の基礎的な知識が身につけている。

##### 5. アクティビティ

高齢者、障害のある人が生涯にわたって、自分の意志で、自分の身体で、多くの人と交流し、自己実現ができるよう積極的な活動についての知識・技術が身につけている。

##### 6. チームマネジメント

利用者本位のサービスを提供するため、多職種協働によるチームアプローチの

必要性を理解することができる。

#### 7. 高齢者福祉

高齢者の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的な知識を修得し、高齢者の地域での生活を理解することができる。また、本人のみならず家族や地域を含めた周囲の環境へ適切な支援をするための知識が身についている。

#### 8. 障害者福祉

障害のある人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的な知識を修得し、障害のある人の地域での生活を理解することができる。また、本人のみならず家族や地域を含めた周囲の環境へ適切な支援をするための知識が身についている。

#### 9. ソーシャルワーク

ソーシャルワークに関する基礎的な知識と技術を修得し、支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズの掘り起こしを行うための知識と技術が身についている。

#### 10. 児童・家庭福祉

児童と家庭の生活実態とそれを取り巻く社会環境について理解し、児童のみならず家庭や地域を含めた周囲の環境へ適切な支援をするための知識が身についている。

## 2) 教育課程編成・実施の方針〔カリキュラム・ポリシー〕

### [教育課程編成・実施の方針及び学修内容]

人間福祉学部社会福祉学科介護福祉専攻における教育課程は、大きく「総合教育科目」と専門科目である「専門基礎科目」・「専門発展科目」に区分し、それぞれ構成する授業科目は、学位授与方針に基づく社会福祉に関わる人材として、課程修了時の資質・能力の獲得を担保するため、学修領域ごとに系統性をもって過不足なく配置する。

#### 総合教育科目

総合教育科目では、専門的な知識・技術を深めていく上で必要となる基本的な学修姿勢や学修方法を修得し、総合的・多角的な視野を身につけるため、「人間」、「社会」、「自然」、「言語」、「スポーツ」、「学びの基礎」、「地域探究」という区分で科目を配置する。

#### 専門基礎科目

専門基礎科目では、総合教育科目で身につけた基本的な学修姿勢や学修方法を基盤として、より専門性の高い科目を配置する。ここでは、対人援助に必要な福祉マインドを養うとともに、社会福祉領域に関する専門知識ならびに学際的知識の修得をめざした科目を配置する。

#### 専門発展科目

専門発展科目では、介護福祉士の領域に関する専門知識と実践的な技能等を修得し、介護を必要とする人の個別のニーズに対応できる知識や技術を学び、マネジメント能力を身につけるための科目を配置する。

### 3) 入学者受入れの方針【アドミッション・ポリシー】

#### [求める学生像]

歳をとっても障害があっても、すべての人が命ある限り幸せに生きるために支援していきたいと考え、多様な視点を尊重しながら協力し合い、主体的に行動できる学生。

## 人間福祉学部 共生社会学科

### 1) 卒業認定・学位授与の方針〔ディプロマ・ポリシー〕

人間福祉学部共生社会学科は、共生社会の実現に向けて高い共生社会マインドを修得した専門職の養成を目的とする。そのため、全学共通のディプロマ・ポリシーを基盤として、以下に掲げる DCU 学士力（専門性）を身につけ、所定の単位を修得した者に対して卒業を認定し、学位（学士「社会福祉学」）を授与する。

#### [DCU 学士力(専門性)]

##### 1. 共生社会の理念

人種、年齢、性別（性自認）、国籍、障害の有無、宗教などの違いにかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合い安心して暮らせるという共生社会の理念を理解し、その実現のために貢献する意欲・姿勢を有している。

##### 2. 多様性の尊重

人々の違いを認め差別や偏見をなくすとともに、異なる人々の価値観を相互に認め合い、尊重し合うことを意識的に努力することができる。

##### 3. 異文化理解

自身の文化的背景や価値観を理解するとともに、自身とは異なる文化や価値観を持つ人々を理解し、受け入れて、共感する姿勢を有している。

##### 4. 多職種連携

共生社会実現のために、福祉・心理・教育その他の専門職との連携について十分に理解した上で、実行することができる。

##### 5. 高齢者福祉

高齢者の心理や身体機能の特性を理解し、その尊厳を守りながら、地域社会で自立した生活を送れるように本人及び家族への適切な支援をするための知識が身につけている。

##### 6. 障害者福祉

障害のある人の心理や身体機能の特性及び生涯発達過程を把握し、障害のある人の地域での生活を理解することができる。そのうえで、本人及び家族への適切な支援を行うための基本的な知識が身につけている。

##### 7. 児童・家庭福祉

児童やその家庭及びそれを取り巻く社会環境についての知識や支援技術を修得したうえで、児童やその家庭及び地域への適切な働きかけをするための知識を身につけ、実践することができる。

##### 8. 心理支援技法の獲得

人々の心の健康を促進することや悩み事を解決し、生きづらさを解消するために、心理支援に必要な知識と支援スキルを理解している。

## 9. インクルーシブ教育

出自や障害の有無にかかわらず、すべての子どもが共に学べる教育環境を整備し、個々のニーズに応じた教育・支援のための知識が身につけている。

## 10. 特別支援教育

特別な支援を必要とする子ども一人ひとりの教育ニーズを理解し、それに応じた適切な教育・支援を行う知識が身につけている。

## 2) 教育課程編成・実施の方針〔カリキュラム・ポリシー〕

### [教育課程編成・実施の方針及び学修内容]

人間福祉学部共生社会学科における教育課程は、大きく「総合教育科目」と専門科目である「専門基礎科目」・「専門発展科目」に区分し、それぞれ構成する授業科目は、学位授与方針に基づく共生社会の実現に資する人材として、課程修了時の資質・能力の獲得を担保するため、学修領域ごとに系統性をもって過不足なく配置する。

### 総合教育科目

総合教育科目では、共生社会実現のために必要となる基本的な学修姿勢や学修方法を修得し、総合的・多角的な視野を身につけるため、「人間」、「社会」、「自然」、「言語」、「スポーツ」、「学びの基礎」、「地域探究」という区分で科目を配置する。

### 専門基礎科目

専門基礎科目では、総合教育科目で身につけた共生社会マインド、および基本的な学修姿勢や学修方法を基盤として、より専門性の高い科目を学ぶために必要となる福祉、心理その他の基礎的知識の修得、ならびに知識の活用法を身につけるための科目を配置する。

### 専門発展科目

専門発展科目では、共生社会実現のための専門的人材を養成すべく、福祉に関するより専門的な知識を学修・修得するとともに、心理または教育に関する専門知識及び実践的な技能を学修・修得した上で、各領域を横断できるような幅広い視野を身につけるための科目を配置する。

## 3) 入学者受入れの方針〔アドミッション・ポリシー〕

### [求める学生像]

現代社会についての基礎的な知識を持ち、共生社会の実現に向けて、多様な人々と協働して学び、実践していく意欲を持った学生。

## 子ども教育学部 子ども教育学科

### 1) 卒業認定・学位授与の方針〔ディプロマ・ポリシー〕

子ども教育学部子ども教育学科は、子どもの最善の利益のために、高い専門性と教育・保育マインドをそなえた専門職を担う人材養成を目的とする。そのため、全学共通のディプロマ・ポリシーを基盤として、以下に掲げる DCU 学士力（専門性）を身につけ、所定の単位を修得した者に対して卒業を認定し、学位（学士「子ども教育学」）を授与する。

#### [DCU 学士力(専門性)]

##### 1. 子ども理解

子ども理解のための知識や方法を身につけ、一人ひとりの子どもの発達や育ちを考慮し、子どもの内面を捉え、必要な援助の検討に活かすことができる。

##### 2. 教育・保育の制度と体系

教育・保育を取り巻く社会とその法的、制度的仕組みについて理解し、教育・保育施設の目的とその実現方法について考えることができる。

##### 3. 幼保小連携

0歳からの学びの連続性を踏まえ、幼児期において育みたい資質・能力が、円滑に小学校教育へ接続するための理論および具体的な方法を考えることができる。

##### 4. 教育・保育実践

教育・保育に関する理論と実践を結びつけ、教育者・保育者の職務内容の理解や ICT 活用、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ることができる。

##### 5. 子育て支援・保護者支援と地域連携

子育て家庭を支援する制度や地域の社会資源を整理し、子どもの育ちが、地域の多様なつながりの中で育まれることを理解し、その支援の方法について具体的に検討することができる。

##### 6. 教育・保育の多様性

多文化共生社会（異文化、多様化する家族）について理解し、支援制度についての知識を身につけ、課題解決の方法を思考、検討することができる。

##### 7. アート表現

子どもの表現世界（アート）を総合的に捉え、支援し、創造的に教育・保育を構想する力を身につけるとともに、表現者としての自己を探求し続けることができる。

##### 8. スポーツ健康

子どもの健康の保持・増進を図るため、スポーツ、健康、自然環境に関する知

識・技能を身につけ、子どものスポーツ活動や健康活動を支援することができる。

#### 9. 教科の指導法

各教科の教育目標、育成をめざす資質・能力について理解し、その指導と評価方法について探求し、実践することができる。

#### 10. 保育内容の指導法

各領域のねらい及び内容について理解を深め、乳幼児の発達に即して教育・保育を構想する方法を探求し、実践することができる。

## 2) 教育課程編成・実施の方針〔カリキュラム・ポリシー〕

### 〔教育課程編成・実施の方針及び学修内容〕

子ども教育学部子ども教育学科における教育課程は、大きく「総合教育科目」と専門科目である「専門基礎科目」・「専門発展科目」に区分し、それぞれ構成する授業科目は、学位授与方針に基づく教育・保育に関わる人材として、課程修了時の資質・能力の獲得を担保するため、学修領域ごとに系統性をもって過不足なく配置する。

#### 総合教育科目

総合教育科目では、幅広い知識と方法論を学ぶことによって、専門的な知識・技術を深めていく上で必要となる基本的な学修姿勢や学修方法を修得し、総合的・多角的な視野を身につけるため、「人間」、「社会」、「自然」、「言語」、「スポーツ」、「学びの基礎」という区分で科目を配置する。

#### 専門基礎科目

専門基礎科目では、教育・保育を学ぶ者として必要とされる基礎的な知識や技能を修得する。また、教育・保育・子育てをめぐる社会の動向に対応できる力を養うために、課題の発見やその解決策を具体的に思考、計画し、他者と連携・協働しながら取り組む姿勢と行動力を身につけるための科目を配置する。

#### 専門発展科目

専門発展科目では、教育・保育実践を学ぶ実習と、教育・保育を取り巻く多様な領域からその課題や方法をより具体的に学び、教育・保育の理念と実践をつなぎ積極的に活用するための力を身につける。また、自らが、教育・保育を探究し、深く思考しながら行動できる実践力や人間理解を深めるための科目を配置する。

## 3) 入学者受入れの方針〔アドミッション・ポリシー〕

### 〔求める学生像〕

子どもや子どもを取り巻く社会の問題に興味・関心を持ち、家庭や地域等と連携して、子どもの成長・発達にふさわしい教育・保育を実践したいと考える学生。

## 人間科学部 心理学科

### 1) 卒業認定・学位授与の方針〔ディプロマ・ポリシー〕

人間科学部心理学科は、様々な心理的困難に直面している人々の支援や心理的健康の保持増進に寄与するため、高い専門性と心理・生涯教育マインドをそなえた人材の養成を目的とする。そのため、全学共通のディプロマ・ポリシーを基盤として、以下に掲げる DCU 学士力（専門性）を身につけ、所定の単位を修得した者に対して卒業を認定し、学位（学士「心理学」）を授与する。

#### [DCU 学士力(専門性)]

1. 人間共生課題探求  
人間共生に関する課題について考え、課題解決の方策を考えることができる。
2. 心理学基礎知識  
心理学の基礎的知識が身につけており、現実場面での問題解決に活用することができる。
3. 心理学関連領域知識  
心理学関連領域の知識が身につけており、広い視野で心理学的思考ができる。
4. 心理学的思考  
様々な心理学関連領域の知識が身につけており、多角的に心理学的思考ができる。
5. 心理支援の理論・技法  
心理支援の理論・技法を学び、心理支援を行う姿勢が身につけている。
6. 領域別心理支援実践  
領域別心理支援を学び、各領域の特徴を理解し、思考することができる。
7. 生涯学習の理論と知識  
生涯学習、社会教育の概念を理解し、それを実践するために必要な知識が身につけている。
8. 生涯学習関連領域知識  
生涯学習、社会教育の知識を踏まえ、生涯学習社会の担い手として積極的な思考ができる。
9. 生涯学習支援活動  
子どもから高齢者まで、多様な人々が展開する幅広い生涯学習活動への理解を深め、その実践に向けて取り組むことができる。
10. 研究・支援の倫理と態度  
研究や支援の実践における倫理性と、それを反映した態度が身につけている。

## 2) 教育課程編成・実施の方針〔カリキュラム・ポリシー〕

### [教育課程編成・実施の方針及び学修内容]

人間科学部心理学科における教育課程は、大きく「総合教育科目」と専門科目である「専門基礎科目」・「専門発展科目」に区分し、それぞれ構成する授業科目は、学位授与方針に基づく心理学・生涯教育に関わる人材として、課程修了時の資質・能力の獲得を担保するため、学修領域ごとに系統性をもって過不足なく配置する。

#### 総合教育科目

総合教育科目では、幅広い知識と方法論を学ぶことによって、専門的な知識・技術を深めていく上で必要となる基本的な学修姿勢や学修方法を修得し、総合的・多角的な視野を身につけるため、「人間」、「社会」、「自然」、「言語」、「スポーツ」、「学びの基礎」、「地域探究」という区分で科目を配置する。

#### 専門基礎科目

専門基礎科目では、高学年次に開講される心理学・生涯教育に関する、より専門性の高い科目を学ぶために必要とされる基礎的な知識や技能を習得するための科目を配置する。

#### 専門発展科目

専門発展科目では、心理学・生涯教育に関する知識や技能を深め、心理的健康の保持増進に寄与できるよう、深く思考しながら行動できる実践力や人間理解を深めるための科目を配置する。

## 3) 入学者受入れの方針〔アドミッション・ポリシー〕

### [求める学生像]

人の心や行動に興味関心を持ち、心理学という視点からの学びを深めることによって、自分も他者も大切にすることを育て社会で活躍できる学生。